

## セッションに参加して

鹿島建設㈱ 玉村公児

2008年9月22日～24日の3日間にわたってITAテクニカルセッションが開催された。このうち「Tunnel & Cavern Construction Technologies and Equipment（トンネルおよび空洞建設技術と設備）」のセッションの「Soft Ground Tunnelling（脆弱地山でのトンネル施工）」のテーマセッションで口頭発表を行い、これと「New Developments—TBM Performance and NATM Experience（新たな開発—TBMとNATMの実績）」のテーマセッションについて聴講した。これらのテーマセッションでは各国の大きなトンネルプロジェクトを対象に発表されたものが多く、施工効率を上げるために開発された設備や工法についての発表内容が多かった。また、今大会では地元インド国内からの参加者が多く、テクニカルセッションの発表の質疑応答で多くの質問を行っており、これらのテーマセッションでは特に支保の構造や使用機械に関する内容の質問が多かったと感じた。地元インド技術者のトンネルに関する国際的な技術の積極的な情報収集の姿勢がうかがわれた。

テクニカルセッションの進行については、チェアマンにより積極的な意見交換が行われるように進められていたが、急な発表開始時間の変更があったり、セッション毎に設定された時間内での発表の調整が不十分で、発表によっては発表者が持ち時間（10分間）の確保が出来ず短時間での発表を求められることもあり、発表者が準備してきた内容が十分発表できなかったという場面があり、非常に残念な部分もあった。

以上